


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成29年 8月 17日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第 4 号	質問議員	3 番	井上 正文 
件 名	山北町は、平成 35 年までにシカやイノシシ等を半減できるのか			
要 旨				
<p>環境省・農林水産省は、平成 25 年 12 月生態系や農林水産業等に深刻な影響を及ぼしているシカ、イノシシ等の野生鳥獣について、抜本的な捕獲強化対策を打ち出した。特に「シカ、イノシシの生息頭数を 10 年後（平成 35 年）までに半減を目指す。」当面の捕獲目標（全国レベル、都道府県レベル）を具体的に決めた。</p> <p>来年平成 30 年は、計画の折り返しの年で、「進捗状況を確認し、必要に応じて目標を見直す」ことになっている。山北町も、これに呼応する形で、平成 28 年度山北町鳥獣被害防止計画を改定した。国の示す平成 35 年に、数値目標を達成することを願い質問する。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 捕獲頭数が昨年と比べ、大きな成果が出ているようだが、平成 35 年を意識しているのか。(2) 1 頭 3,000 円（山北町）の効果を検証し、近隣市町への普及啓発をすべきでは。(3) 農家の人達が罠の免許をとった。罠（器具）の助成を考えて欲しい。(4) 鳥獣被害防止柵設置助成対象に、人件費を入れて欲しい。(5) ジビエカーの台数を増やすべきでは。(6) お試し住宅は、耕作放棄地解消のための貸農園や林業等とセットに考えられないか。(7) 現在、丸山と浅間山にシカやイノシシが入っている。 このまま見過ごすと動物たちは怖いものなしで、常態化すると人的被害や、ヤマビルが最悪の状態になる。そうならないためにも、平成 35 年にはこの二つの山にシカやイノシシが棲めない環境をつくるべきだがいかがか。				